

○ 政務活動(行政視察・研修)報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	創生会 増井浩一、多比良和伸、永関博紀
視察・研修名	「未来につなぐふくい魅える化プロジェクト」について
視察・研修の 目的	取り組みの経過について 経緯、概要、事業効果、課題等について
日時	令和1年11月18日(月) 13:30 から 15:00
視察研修の 概要	<p>視察先：福井県 福井市議会 未来づくり推進局 まち未来創造課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和田 真生 総務部 未来づくり推進局 まち未来創造課長 ・勝木 康史 総務部 未来づくり推進局 まち未来創造課 課長補佐 <p>①プロジェクト策定の経緯・背景・概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 県内人口は福井市に集まる 若年者の都市圏への転出は加速 ・福井に戻りたいけど働き先がない *多数ある福井の逸品 越前ガニ、いちほまれ(米)、金福・銀福スイカ *歴史ある繊維産業 人工血管、カーシート(世界シェアNo.1)、コーションラベル等 *観光スポット 足羽川の桜並木、国の指定文化財、水仙の群生地 <p>②プロジェクトの目的</p> <p>都市圏の若者や女性を中心とした人材を呼び込み、市内企業の人材とともに、新たな創造を生み出し、持続的に都市圏からの人の流れを生み出す</p> <ul style="list-style-type: none"> *内からの視点と外からの視点を掛け合わせ、ふくいの魅力を発信・ファンを生み出す <p>③成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> *都市圏とのネットワークの構築で、人の流れが出来てきた *新たなアイデアや新しい気づきを得られた *繊維産地への接点を創出 *粘着技術を活かした新製品の試作 *特産品のレースの特性を活かした新たな利用法の検討 *日本海トライアルステイ(お試し居住)を通して魅力の発見 →『ワーケーション』へ <p>④今後の課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> *地方創生交付金の活用 *2020年以降の活動として、地元推進組織の構築 *地元人材を中心とした官民連携の活動、自立的活動の展開

○ 政務活動(行政視察・研修)報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	創生会 増井浩一、多比良和伸、永関博紀
視察・研修名	「七尾創業応援カルテット」について
視察・研修の 目的	取り組みの経過について 経緯、概要、事業効果、課題等について
日時	令和1年11月19日(火) 9:30 から 11:00
視察研修の 概要	<p>視察先：七尾市議会 七尾市 産業部 商工観光課 ・杉木 勉 七尾市議会議長 ・藤本 和也 議会事務局 専門員 ・林 尚子 商工観光課 商工グループ専門員 ・堀川 尚哉 主事</p> <p>①プロジェクト策定の経緯・概要について ・少子高齢化 35年間で人口が7万人→5万人 生産年齢人口の著しい減少 ・事業所数は30年間で 5,100 → 3,300 35%減 ・従業員数は30年間で 3.1万人 → 2.5万人 20%減 ・市内総生産は5年間で 2,450億円 → 2,200億円 △250億円 10%減 *少子高齢化が進み、労働力人口が減少 → 進学・就職期の人口流出 *経済規模の縮小 *厳しい企業誘致 *既存の企業振興事業では何かが足りない → 一番は資金面 ⇒シャッターオープン事業(補助上限150万円) ↓ ○ななお創業応援カルテット * ・ワンストップで ・ステージに応じた ・豊富な支援メニュー * 行政・会議所・地元信金・日本政策信用金庫 が連携</p> <p>② 事業内容 * 4機関の相談窓口の設置、情報共有 * 連絡会議、創業相談会、創業応援セミナー、創業塾、創業者交流会、PR、</p> <p>③ 事業の成果について * 相談件数(5年間) 188件 → 開業件数 84件 ⇒ 七尾市スタートアップ事業(補助上限200万円)、市全域に対象範囲を拡大 ⇒ 市外からの創業者増 → 新たな展開『iju 創業パック』 * 『ななおカルテット村』発足 → 異業種間での協力 ⇒ 創業者マップ、Web化、新商品開発、地域イベントへの共同参加など</p>

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

<p>会 派 名 (参加者)</p>	<p>創生会（増井浩一・多比良和伸・永関博紀）</p>
<p>視察・研修名</p>	<p>全国地方議会議員勉強会「公園活用からにぎわいをつくる！」</p>
<p>視察・研修の 目 的</p>	<p>セミナー参加を通して、砂川の公園の利活用を考え、実行することを目的とする。</p>
<p>目 時</p>	<p>令和2年3月27日</p>
<p>視 察 研 修 の 概 要</p>	<p>研修先：全国地方議会議員勉強会主催セミナー 「公園活用からにぎわいをつくる！」@東京都表参道</p> <p>講師：町田誠（元国土交通省・SOWING WORKS 代表）</p> <p>研修内容：</p> <p>1、都市公園の現状 全国の都市公園面積は 12.6 万 ha 10.8 万か所 国民一人当たり 10m²（砂川市の一人当たりの公園面積約 200m²）</p> <p>2、講義の要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PARK-PFI 制度（公共事業を民間に設計・建設・管理・運営委託する手法）や都市公園法等改正の流れで、充実した空間をつくっていく流れが生まれている。 ・ 隅田川 隅田公園のオープンカフェ、大津駅前公園、別府公園、他多数の PFI 制度を活用した成功事例の紹介 ・ 法改正で、公園内では首長の裁量で大概のものが建てられるようになった（ホテル・水族館・保育所・カフェ・キャンプ場） <p>3、質問事項</p> <p>魅力ある空間を生み出すための具体的な手法や手順</p> <p>→回答：担当課や首長の意識醸成が重要であり、民間企業への公募が肝となる。</p>